

平成28年度 事業報告

青陽園・診療所・初任者研修事業

計 画		実施状況
1 事業		
(1) 特別養護老人ホームの経営 青陽園 定員140人		計画どおり
(2) 老人短期入所事業の経営 青陽園 定員 20人		
(3) 青陽園診療所の経営		
(4) 介護職員初任者研修事業 青陽園		
2 経営方針		
計画どおり		
3 行動指針		
計画どおり		
4 収支目標		
青陽園入所 98% 短期入所 90%	介護老人福祉施設入所率 97.0% 短期介護予防短期入所率 96.3% 平均ベッド稼働率 96.93% 平均要介護度 入所4.0 短期3.5	
診療所	年間事業収益 診療事業収益 30,666千円⇒対前年比 98.2% 受託収益 9,062千円⇒対前年比106.1%	
初任者研修事業	受講者数7名	
5 実施内容		
(1) 施設の安心・安全な運営		
<p>①社会的な信頼の確保と向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護などを適切に行うために、法令、各種規程の遵守の徹底を図るための研修等を実施する。 ・介護保険請求の減算やサービスの低下を来さぬよう、配置基準を確認し必要な職員を確保する。 ・第三者評価を受審し高い評価が得られるサービスに努める。 	<p>①個人情報保護法、ガイドライン、個人情報保護規程等を基本に個人情報保護に努めた。6月に職員教育研修で「個人情報保護」をテーマに実施した。</p> <p>毎月配置基準を確認し職員確保に努めた。</p> <p>第三者評価受審について7月に第三者評価機関(株式会社 ケアシステムズ)と契約を締結し、9・10月に利用者調査及び職員自己評価を終了させ、11月に訪問調査を行い、平成29年3月に報告を含めた講評を受けた。総合的な調査の結果は、対象者の87.3%が「大変満足」または「満足」と回答し、「どちらともいえない」「無回答」が12.7%であり、高い満足度を得ることができた。</p>	

<p>②医療体制の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者・家族から安心感を持たれている常勤医師の配置について、継続・維持に努める。 ・常勤医師、非常勤医師による定期的な居室巡回の工夫を図るとともに、内容の充実に努める。 ・看取り期の対応を充実・強化するために利用者、家族と主治医等との十分な意思疎通を促進する。 	<p>②従前の常勤医師、非常勤医師等の配置体制を維持し、看護・医療の充実を図った。</p> <p>定期的な居室巡回等医療体制の強化を図った。</p> <p>八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会(八高連)への加入を継続し、救急対応に対し一層迅速で安全な救急搬送体制と受け入れ先となる病院等との連携を強化させた。</p> <p>11名について、家族と主治医等との意思疎通を図りながら看取り介護を実施した。</p>
<p>③防災体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火管理委員会を計画的に開催し、組織的な防災体制の充実を図る。 ・定期的な防災訓練、定期点検を実施する。 ・災害防災訓練を強化し、事業継続のための知識を得る。 	<p>③年間実施計画を策定し、計画通り実施した。</p> <p>また、日々の点検のほか専門業者による定期的な消防設備点検等を実施し、非常照明バッテリー交換等、不具合箇所について修理・改善等、すみやかに対応した。</p>
<p>④事故、感染症等の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的にリスク回避を行うためのリスクマネジメントの実践を行う。 ・事故防止委員会にて、ヒヤリハット及び事故報告書を分析し対策を行い事故防止を図ることを強化する。 ・外部機関の研修に参加するとともに、それらの内容を踏まえた園内研修の充実を図る。 	<p>④外部研修及び職員教育研修の開催によって、より多くの職員が事故、感染症等を理解することが出来る環境を作った。</p> <p>マニュアル検討委員会において、マニュアルの見直し・整備作業を継続し実施した。ヒヤリハット報告書及び事故報告書からの事故分析や原因追求を確実に実行し検討後の対策をマニュアルに組み込み強化すること、及び、実施に向けることを課題としている。</p>
<p>⑤虐待の防止及び早期発見・拘束ゼロの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に参加し、その内容を踏まえて園内研修を実施する。 ・マニュアルの徹底、必要な見直しを実施する。 	<p>⑤外部研修に参加するとともに、尊厳保持・虐待・拘束防止委員会にて検討・実施した。</p> <p>マニュアル検討委員会においてマニュアルの見直し・整備作業を行い整備することができた。</p>
<p>⑥建物・設備の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・良好な建物設備を維持するため、計画的な改修を実施する。 ・定期的な建物・設備の点検を実施し、必要に応じて修繕を実施する。 ・空調及びボイラー設備の更新、LED照明設備等への切替えを行い安全・安心な環境を整え、併せて経費の削減を図る。 	<p>⑥建物、設備においては定期的な点検を計画どおり実施した。</p> <p>空調及びボイラー設備の更新、LED照明設備等への切替えを行い、ガス使用料については約70%程度の削減が図られ、電気料は約5%の増加となり前年度比約25%の削減ができた。</p>
<p>(2) 社会・利用者ニーズへの的確な対応</p>	
<p>①個別サービス計画について組織的な見直しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者・家族の要望を組織的かつ的確に把握する。 ・各部署との連携強化を図り、介護度3以上の入所を踏まえた創意と工夫を図り高品質なサービスの向上に努める。 ・パソコンを活用し、情報を共有化し、業務の効率化を図る。 ・サービス実施後の評価を適切に行い、その後のサービス計画に反映させる。 	<p>①ケアプラン方針会議を開催し、個別サービス計画を組織的に見直した。</p> <p>ご意見箱を各フロアに設置し家族からの要望等の収集に努めた。また、面会時などからもできるだけ意見や要望の把握に努めた。また、パソコン入所者管理システムを導入してから活用方法について習得がされ各課との連携のもとにデータに基づいた個別サービス計画への評価・反映を効率的に実施した。</p>

	<p>②利用者・家族の意見、要望の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスプランについて十分な説明を行い、利用者・家族の同意が得られるようにする。 ・毎月1回、園長と利用者との定期的な懇談会をフロア毎に開催し、利用者の意見等を把握する。 ・多くの家族が来園する園行事の機会をとらえ、家族と園との定期的な懇談会を開催し、意見交換を深める。 ・年に1回以上のアンケート調査を実施し、意見、要望の把握に努める。 	<p>②サービス計画を計画的に利用者、家族の要望を踏まえPDCAサイクルで行った。また、サービス計画の内容は十分な説明のもと同意を得た。</p> <p>毎月定期的に園長と利用者との懇談会を開催し、意見要望の把握に努めた。</p> <p>お花見会、敬老会において家族懇談会を開催し、意見交換を深めた。ホームページを随時更新し、また、園だより「ふれあい」については枚数を増やし、よりご家族に安心いただける内容に充実させ、多くの施設情報を適宜家族にもお知らせし、家族からの意見要望の把握にも努めた。</p> <p>利用者アンケートは1月10日から2月10日までの期間で行い意見、要望の把握に努めた。</p>
	<p>③サービス計画に基づくサービスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事、排せつ、入浴等の個別サービスを実施し、向上を図る。 ・医療、健康管理、機能訓練サービスを実施し、向上を図る。 ・個人の状態や要望に即した食事形態や、季節感を取り入れた行事食、選択食の回数を増やし、よりきめ細かな、快適な食事サービスを実施する。 	<p>③利用者・家族等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の施設サービス計画をもとに、利用者に合わせて食事、排せつ、入浴等のサービス提供を実施した。</p> <p>施設サービス計画に沿った健康管理・機能訓練を実施した。</p> <p>栄養ケアマネジメントや経口維持計画を実施し、個々の状態に応じた食事提供、季節感を取り入れた行事食、選択食や旬の素材を取り入れた等のきめ細かい食事サービスを提供した。</p>
	<p>④各種行事等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お花見会、敬老の日の行事等季節感のある全体行事を実施する。 ・利用者の要望を取り入れた買い物等の行事を実施する。 ・レクリエーション活動として、風船バレーボールやクラブ活動等が充実できるよう努める。また、利用者の状況に合わせ、多くの利用者が参加できるように活動を見直していく。 	<p>④4月「お花見会」5月「探索の日(羽村動物園)」「衣料販売」6月「外食の日」7月「法人合同夏祭り」8月「買い物の日」「アイスクリームの日」9月「敬老会」10月「チャリティーバザー」「おでかけの日」「合同防災訓練」「アニマルセラピー」「衣料販売」11月「移動動物園」12月「クリスマス忘年会」「餅つき」1月「新年会」2月「節分会」等の行事の他、毎月定期的に風船バレー、クラブ活動、喫茶や世代間交流(園児、学童、小学生)等利用者が楽しめ、また、生き生きと活動に参加できるように内容を充実させた。</p>
<p>(3) 事業の安定的・効率的な運営</p>		
	<p>①経営感覚の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入の増を意識し稼働率向上に繋げるための創意工夫を図り、また、園全体で経費の減を意識した行動に努める。 ・月々の稼働率を分析し、幹部会で評価し、更に経営の充実に努める。 ・優良な施設経営等のノウハウを取得し、施設経営への活用を図る。 ・大規模修繕を見通した資金計画の策定を継続する。 ・短期入所の更なる促進を図る。 	<p>①月1回の幹部会において稼働率の分析、改善等検討し、また、予測をしながら経営への意識を高めた。</p> <p>利用者の入院などが続き、また、短期入所者においても稼働率の伸び悩みが生じたが、下半期に新規利用者の登録が増え利用数が増加した。</p> <p>概ね予算に基づいた収支バランスを確保することができた。</p>

<p>②職員の確保・定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営理念を現場で具現化できる人材育成の取り組みを行う。 ・職員の確保・育成などのための介護職員初任者研修を年1回行い、講師には全施設からの協力を得る。 ・第二青陽園と協力し、福祉専門学校や高等学校等との連携強化を図る。また、新卒者向け採用説明会の開催を行い、人材確保を図る。 ・職員が業務に対する充実感、達成感等を持てる職場環境の整備を行う。 	<p>②介護職員初任者研修事業は8月2日から10月6日の期間で開催した。受講者は7名であった。講師については、全施設からの協力を得て実施した。</p> <p>29年度の職員採用に向け、専門学校の他、高等学校との連携強化に努めた。連携先は、専門学校23校及び高等学校2校に訪問等行い、その結果専門学校より数名の施設見学者が来園し、3名を採用に繋げることが出来た。また、8月には青陽園、第二青陽園、からまつ保育園合同で「29年度就職説明会」を行った。</p> <p>自己申告書を基に、明確な目標を掲げ達成するための意見交換や実施を行い評価が受けられる職場環境の整備を図った。29年度に開始予定である。</p>
<p>(4) 職員の知識・技術の向上と職場の活性化</p>	
<p>①職員の知識・技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内において定期的な研修を実施する。 ・外部研修への積極的な参加とその成果を活用する。 ・アクティブ福祉イン東京への発表やマニュアル等の見直しなどを行う。 ・資格要件加算等に必要な各種資格を取得する際の支援体制の充実を図る。 ・他施設への見学を積極的に促進する。 	<p>①園内研修を月2回行った。毎年「アクティブ福祉in東京」の研究発表に参加しており、今年度は、参加予定の近隣施設と合同で事前に「アクティブ福祉in東京発表事前研修会」に参加し、知識を高めるとともに八王子市内参加園との交流を図った。発表会本番は発表者を含め10名の職員が参加し、事業サービスの探求に努めた。また、外部研修内容は職員教育研修でも発表の機会を設けた。</p> <p>各種資格取得に向けた支援を実施した。</p>
<p>②職場の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「年休取得推進委員会」の活動を継続し、年休の取得促進に努める。 ・「女性が働きやすい職場づくり委員会」を継続し、結婚、妊娠、出産、子育てを経るときも、また、家族の介護を経るときも働き続け活躍できる職場づくりに努める。 ・メンタルヘルス対策の充実、強化を図る。 ・IT技術等の活用を図ることにより、業務の効率化を図る。 ・人材育成計画を見直し、将来に向けて計画的に人材を育成する。 	<p>②年休取得に努めたが、積極的な取得には至らなかった。課題として年休取得促進のための業務見直しや意識改革が必要である。</p> <p>「女性が働きやすい職場づくり委員会」の活動においては、4月から活発に行われ、委員会で業務改善及び年休推進などをリンクさせ検討が行われた。本格実施は、29年6月を予定している。</p> <p>メンタルヘルス対策として職場でのヒヤリング等で気持ちを受け止めながら評価を行った。</p> <p>上半期にはメンタルヘルスチェックの準備をすすめ、産業医をはじめ担当者を2名配置し、10月に実施することができた。</p> <p>IT技術の活用を図ることにより、情報の共有化が図られ業務の効率化に繋がった。</p> <p>人材育成計画においては、職員が担うべき役割を明確にし、目指すべきスキルを向上させるために下半期に策定し、次年度の目標管理他、人材育成に繋げていけるよう準備を整えた。29年度に本格実施の予定である。</p>
<p>③業務の簡素化、効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務分掌、責任と権限を明確にするとともにマニュアルの整備を行う。 ・会議の見直しと効率的な活用と運営を図る。 	<p>③マニュアル検討委員会を定期的開催し、業務の見直しを通して簡素化、効率化を図るべく検討を行った。</p> <p>毎月1回行われている安全衛生委員会について、内容を充実させ、より職員が安全なもと安心して業務が遂行できるよう検討を行った。</p>

(5) 地域、後援会との連携	
<p>①地域等連携事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二青陽園及び地域包括支援センター川口と共催し「いきいき健康相談」「認知症カフェ・さくら」「介護予防教室」を引き続き実施し、地域の介護予防に取り組む。 ・園の全体行事、法人主催の夏祭り行事、防災訓練、バザー等をとおして地域、後援会との交流を図る。 ・広報誌発行やホームページの更新等により、適切な情報提供に努める。 ・青陽ホールの積極的な貸し出しを行う。 ・五町会との懇談会に参加し、園の情報提供及び地域の情報収集に努める。 	<p>①「認知症カフェ・さくら」を予定どおり開催した。参加者延400名であった。また、介護予防教室については、延635名の参加があり順調に参加者が増えた。</p> <p>法人合同夏祭り等では、年3回後援会と交流を図った。年3回園の広報誌を発行し、活動内容等の情報提供を行った。</p> <p>青陽ホールの貸し出し情報を広報誌「ふれあい」や法人の「東京玉葉会だより」に掲載した。</p> <p>6月には、五町会との懇談会に参加し、園の情報提供及び地域の情報収集に努めた。</p> <p>八王子市社会福祉協議会より9月にボランティア活動者学習・交流会の講師依頼を受け、2名の職員を派遣した。また、11月には八王子市教育委員会が行う地域住民のための生涯学習についての講師依頼を受け2名の職員を派遣し積極的に地域との連携を図った。</p>
<p>②ボランティアの積極的な受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる利用者の生活や活動の活性化を図る。 	<p>②ボランティアコーディネーターを2名配置し、引き続きボランティアについて積極的に受け入れ、レクリエーション活動の活性化を図った。その結果、レクリエーションなどのボランティア以外にも生活に密着した活動を行うボランティアを充実させることができた。学生ボランティア等数が増えることが見込まれるため、受け入れ体制を見直し、より受け入れ、活動しやすい環境を整えた。</p> <p>また、既存のボランティア団体等を見直し、3月31日現在で団体数15団体、個人ボランティア43名、うち、学生団体2団体、学生個人ボランティア8名である。3月には、ボランティア懇談会を実施し、活発的な意見交換を行い、また、感謝の意を表すことができた。</p>
<p>③高齢者関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都、八王子市との情報交換等を積極的に行う。 ・東京都社会福祉協議会、八王子市社会福祉協議会等との連携を図る。 ・東社協高齢者施設部会、八王子施設長会に参加し、他施設との情報交換を行う。 ・地域の医療機関との勉強会や情報交換を行う。 	<p>③介護保険制度の動向などに関して情報収集に努め、必要に応じて都や八王子市などと連携をしている。</p> <p>東社協高齢者福祉部会、八王子施設長会に参加し、他施設との情報交換を行った。</p>